

追手門学院大学大学院 現代社会文化研究科カリキュラムマップ_2025年度入学生用

人材養成目的		現代社会学専攻は、社会学に関する高度な専門的知識を基盤として、現代社会の全体像を多元的に研究することを通じて、複雑化する様々な社会問題の解決や地域社会の持続性を目指す学術研究する能力を備え、現代社会のイノベーションや地域社会の持続性に寄与する高度専門職業人を養成することを目的とする。																		
		国際教養学専攻は、国際的通用性のある教養と、英語あるいは日本語のより高い運用力を持ち、自らを深く知り、研究をとおして自らを不断に成長させる人材を育成し、国際共通語としての英語を活用して、世界中の異文化に視野を広げ、他者の価値観を尊重し、自分の生き方が相対化できる高度専門職業人、あるいは国際的視野から日本の伝統文化や最先端の文化及び日本語についてより深く学び、自国文化を積極的に他者に発信することができる高度専門職業人を養成することを目的とする。																		
ディプロマ ポリシー	現代社会学専攻【現代社会コース】 社会学の方法・概念・理論に関する高度な専門的知識だけでなく、隣接する社会諸科学・人文諸科学の知識を修得している。					現代社会学専攻【現代社会コース】 研究遂行の基礎となる、文献を読解するための語学力、資料収集・実地調査・分析能力、研究成果を発信する能力を備えている。					現代社会学専攻【現代社会コース】 各自の研究テーマに関して、先行研究を十分に踏まえ、正確かつ適切な資料収集・実地調査・分析や理論的考察を行い、論旨が明確であるだけでなく独自性・独創性のある論文として構築することができる。									
	現代社会学専攻【スポーツ文化学コース】 社会学及びスポーツ科学の方法・概念・理論に関する高度な専門的知識だけでなく、隣接する社会諸科学・人文諸科学・自然諸科学の知識を修得している。					現代社会学専攻【スポーツ文化学コース】 研究遂行の基礎となる、文献を読解するための語学力、資料収集・実地調査・分析能力、研究成果を発信する能力を備えている。					現代社会学専攻【スポーツ文化学コース】 各自の研究テーマに関して、先行研究を十分に踏まえ、正確かつ適切な資料収集・実地調査・分析や理論的考察を行い、論旨が明確であるだけでなく独自性・独創性のある論文として構築することができる。									
	現代社会学専攻【地域創造コース】 地域社会の課題解決策や地域創造に関する高度な専門的知識だけでなく、隣接する社会諸科学・人文諸科学の知識を修得している。					現代社会学専攻【地域創造コース】 研究遂行の基礎となる、文献を読解するための語学力、資料収集・実地調査・分析能力、研究成果を発信する能力を備えている。					現代社会学専攻【地域創造コース】 各自の研究テーマに関して、先行研究を十分に踏まえ、正確かつ適切な資料収集・実地調査・分析や理論的考察を行い、論旨が明確であるだけでなく独自性・独創性のある論文として構築することができる。									
	国際教養学専攻【国際コミュニケーションコース】 国際共通語としての英語の高度な運用能力と英語学、英語教育学、英文学、文化地理学における方法・概念・理論に関する高度な専門的知識および国際的、学際的分野について複眼的視野のもとに獲得される知識を修得している。 言語の持つ構造、意味、機能などの理論や、第二言語としての英語の教授法、第二言語習得理論、英米文学や文化地理学の研究方法などの領域の基礎的な知識を修得している。					国際教養学専攻【国際コミュニケーションコース】 研究遂行の基礎となる、文献を読解するための語学力、資料収集・実地調査・分析能力、研究成果を発信する能力を備えている。					国際教養学専攻【国際コミュニケーションコース】 各自の研究テーマに関して、先行研究を十分に踏まえ、正確かつ適切な資料収集・実地調査・分析や理論的考察を行い、論旨が明確であるだけでなく独自性・独創性のある論文として構築することができる。									
	国際教養学専攻【国際日本学コース】 日本語と日本文化に関する高度な専門的知識、および国際的、学際的分野について複眼的視野のもとに獲得される知識を修得している。 異文化との関わりの中で、日本文化の価値を総合的かつ相対的に研究する能力を有し、国際的視野および学際的視野から日本の伝統文化や最先端の文化を積極的に他者に発信することができる。					国際教養学専攻【国際日本学コース】 研究遂行の基礎となる、文献を読解するための語学力、資料収集・実地調査・分析能力、研究成果を発信する能力を備えている。					国際教養学専攻【国際日本学コース】 各自の研究テーマに関して、先行研究を十分に踏まえ、正確かつ適切な資料収集・実地調査・分析や理論的考察を行い、論旨が明確であるだけでなく独自性・独創性のある論文として構築することができる。									
科目区分 (大分類)	専攻科目										大学院共通科目		専攻共通科目				研究指導科目			
科目区分 (中分類)	専攻科目 現代社会コース		専攻科目 スポーツ文化学コース		専攻科目 地域創造コース		専攻科目 国際コミュニケーションコース		専攻科目 国際日本学コース		大学院共通科目		専攻共通科目 現代社会学専攻		専攻共通科目 国際教養学専攻		研究指導科目 現代社会学専攻		研究指導科目 国際教養学専攻	
2年次																	QS11202 研究演習Ⅳ QS11201 研究演習Ⅲ		QE11202 研究演習Ⅳ QE11201 研究演習Ⅲ	
1年次 または 1年次以上	QS31118 表現文化論研究	QS32112 情報システム演習	QS33117 地域創造学文献研究	QE31115 コミュニケーション文法論研究	QE32113 ポップカルチャー研究	QQ21101 Academic English特論	QS21102 社会調査法演習	QE21102 国際日本学基礎	QS11102 研究演習Ⅱ	QE11102 研究演習Ⅱ										
	QS31117 消費社会論研究	QS32111 情報システム特論	QS33116 災害復興研究	QE31114 形態論・統語論研究	QE32112 クールジャパン研究		QS21101 現代社会学総論	QE21101 国際教養学基礎	QS11101 研究演習Ⅰ	QE11101 研究演習Ⅰ										
	QS31116 文化社会学研究	QS32110 コーチング学研究	QS33115 居住環境研究	QE31113 意味論・語用論研究	QE32111 日本学研究															
	QS31115 メディア社会研究	QS32109 スポーツ心理学研究	QS33114 文化資源活用研究	QE31112 国際文化地理学研究	QE32110 日本芸能研究															
	QS31114 コミュニケーション論研究	QS32108 身体ヘルシーエイジング	QS33113 地域文化継承研究	QE31111 自然言語処理研究	QE32109 日本現代文化論研究															
	QS31113 社会文化理論研究	QS32107 身体運動制御特論	QS33112 地域創造事例研究	QE31110 国際コミュニケーション論研究	QE32108 日本文化史研究															
	QS31112 質的調査法演習	QS32106 健康医学特論	QS33111 地域デザイン研究	QE31109 英米文化研究	QE32107 日本受容文化論研究															
	QS31111 多変量解析演習	QS32105 スポーツ医科学特論	QS33110 地域コミュニティ研究	QE31108 英米文学研究	QE32106 日本近現代文学研究															
	QS31110 科学社会学研究	QS32104 スポーツ都市文化特論	QS33109 生活空間研究	QE31107 英語教材論研究	QE32105 日本物語・小説研究															
	QS31109 犯罪社会学研究	QS32103 スポーツ産業特論	QS33108 都市計画研究	QE31106 英語教授法研究	QE32104 日本詩歌研究															
	QS31108 社会と規範研究	QS32102 スポーツ文化論研究	QS33107 観光産業研究	QE31105 英語教育学研究	QE32103 日本語学研究															
	QS31107 医療と社会研究	QS32101 スポーツ社会学研究	QS33106 観光行動研究	QE31104 第二言語習得論研究	QE32102 日本語日本文化総合演習Ⅱ															
	QS31106 組織社会学研究		QS33105 観光資源研究	QE31103 応用言語学研究	QE32101 日本語日本文化総合演習Ⅰ															
	QS31105 地域社会学研究		QS33104 観光政策特論	QE31102 言語学研究																
	QS31104 市民社会研究		QS33103 住宅政策特論	QE31101 英語学研究																
	QS31103 家族社会学研究		QS33102 都市政策特論																	
	QS31102 ジェンダー・セクシュアリティ研究		QS33101 地域政策特論																	
	QS31101 理論社会学研究																			
修了要件	18単位以上。ただし、自コースから12単位以上修得しなければならない。										専攻科目18単位の中に含めることができる。		4単位				8単位 「修士論文」の審査および試験（口頭試問）を合格すること。			
カリキュラム ポリシー	現代社会学専攻【現代社会コース】 社会学領域およびメディア・表現領域に関する高度な専門知識を習得させるために、それぞれの領域において、文献研究や実地調査や調査結果の分析をも取り入れた多様な実践的研究科目を置く。					研究能力の向上を図るために、全研究科共通科目を置く。					現代社会学専攻【現代社会コース】 社会学および社会調査に関する専門基礎知識・技能を習得させるために、専攻共通科目を必修科目として置く。					現代社会学専攻【現代社会コース】 学位論文の作成等の指導を行うために研究演習科目を必修科目として置く。				
	現代社会学専攻【スポーツ文化学コース】 スポーツ科学に関する高度な専門知識を習得させるために、それぞれの領域において、文献研究や実地調査や調査結果の分析をも取り入れた多様な 実践的研究科目を置く。										現代社会学専攻【スポーツ文化学コース】 社会学および社会調査に関する専門基礎知識・技能を習得させるために、専攻共通科目を必修科目として置く。					現代社会学専攻【スポーツ文化学コース】 学位論文の作成等の指導を行うために研究演習科目を必修科目として置く。				
	現代社会学専攻【地域創造コース】 地域創造に関する専門的知識を修得させるために文献研究科目を置く。 政策系科目だけでなく、実地調査や調査結果の分析をも取り入れた多様な実践的研究科目を置く。										現代社会学専攻【地域創造コース】 社会学および社会調査に関する専門基礎知識・技能を習得させるために、専攻共通科目を必修科目として置く。					現代社会学専攻【地域創造コース】 学位論文の作成等の指導を行うために研究演習科目を必修科目として置く。				
	国際教養学専攻【国際コミュニケーションコース】 （１）英語学、英語教育学、英米文学に関する専門分野の理論的な知識と実業界、教育界などの現場での実務実践をブリッジする教育課程の構築を目指す。そのために、コースワークから研究指導へ有機的につながる体系的かつ組織的な大学院教育の確立を目指す。 （２）教育上の目的を達成するために必要な授業科目を置くとともに学位論文の作成等に対する指導を行うなど、体系的な教育課程を編成する。このため、授業科目および学位論文の作成等に対する指導科目をそれぞれ「専門科目」と「専門演習科目」に区分し履修する。										国際教養学専攻【国際コミュニケーションコース】 （１）英語学、英語教育学、英米文学に関する専門分野の理論的な知識と実業界、教育界などの現場での実務実践をブリッジする教育課程の構築を目指す。そのために、コースワークから研究指導へ有機的につながる体系的かつ組織的な大学院教育の確立を目指す。 （２）教育上の目的を達成するために必要な授業科目を置くとともに学位論文の作成等に対する指導を行うなど、体系的な教育課程を編成する。このため、授業科目および学位論文の作成等に対する指導科目をそれぞれ「専門科目」と「専門演習科目」に区分し履修する。									
アドミッション ポリシー	国際教養学専攻【国際日本学コース】 （１）日本文化を、世界との関わりの中で国際的かつ学際的に広く学ぶ科目群を配置する。 （２）日本文化を、古代から現代に至る長い時間的推移の中で歴史的に学ぶ科目体系を用意する。 （３）文献を重視するのみならず、フィールドワークをも取り入れ、より実践的に学ぶ。 （４）国語および日本語教育分野における、高度な知識とその運用力を持つ教員を養成できるように、充実した科目を用意する。										国際教養学専攻【国際日本学コース】 （１）日本文化を、世界との関わりの中で国際的かつ学際的に広く学ぶ科目群を配置する。 （２）日本文化を、古代から現代に至る長い時間的推移の中で歴史的に学ぶ科目体系を用意する。 （３）文献を重視するのみならず、フィールドワークをも取り入れ、より実践的に学ぶ。 （４）国語および日本語教育分野における、高度な知識とその運用力を持つ教員を養成できるように、充実した科目を用意する。									
	現代社会文化研究科は、本研究科の教育理念及び教育目標にもとづき、以下のような人材を求める。 [現代社会学専攻] 現代社会学専攻は、社会学に関する高度な専門的知識を基盤として、現代社会の全体像を多元的に研究することを通じて、複雑化する様々な社会問題の解決や地域社会の持続性を目指して学術研究する能力を備え、現代社会のイノベーションや地域社会の持続性に寄与する高度専門職業人の養成を目指している。このため、以下の資質・意欲をもつ人材を求める。 （１）現代社会学分野において研究するための基礎学力と学修意欲を備え、かつそれらを高度なものとするための努力を惜しまない者 （２）現代社会学分野において、自ら主体的に研究課題を設定し、従来の学問体系や方法論を学んだ上で、これらにとらわれることなく、新しい研究成果を志向する意思と、論理的に考察する能力をもっている者 （３）特定の学問領域を学んでいく強い意欲をもち、修得した高度な専門的知識や自らの研究成果を職業に活かし、社会への還元を強く志す者 [国際教養学専攻] 国際教養学専攻は、国際的通用性のある教養と、英語あるいは日本語の高度な運用力を持ち、自らを深く知り、研究をとおして自らを不断に成長させる人材を育成する。 特に、国際共通語としての英語を活用して、世界中の異文化に視野を広げ、他者の価値観を尊重し、自分の生き方が相対化できる高度専門職業人、あるいは国際的視野から日本の伝統文化や最先端の文化および日本語についてより深く学び、自国文化を積極的に他者に発信することができる高度職業専門人の養成を目指している。 このため、以下の資質・意欲をもつ人材を求める。 （１）英語あるいは日本語の高度な運用能力を有し、国際教養学分野において研究するための基礎学力と学修意欲を備え、かつその学力をより高度なものとするための努力を惜しまない者 （２）国際教養学分野において、自ら主体的に研究課題を設定し、従来の学問体系や方法論を学んだ上で、これらにとらわれることなく、新しい研究成果を志向する意思と、論理的に考察する能力をもっている者 （３）特定の学問領域を学んでいく強い意欲をもち、修得した高度な専門的知識や自らの研究成果を職業に活かし、社会への還元を強く志す者																			